

報道関係各位  
[プレスリリース]



2019年1月8日

## データビークル、商品情報プラットフォームを展開する

### eBASE と資本業務提携

商品データの有効的な活用シーンを開拓し、デジタル経営への転換を図る企業へソリューションを提供

株式会社データビークル（本社：東京都港区／代表取締役社長：油野 達也）は、2018年5月31日、企業間の商品情報交換プラットフォームを提供する eBASE 株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役社長：常包浩司）と資本・業務提携契約を締結したことを発表いたします。

eBASE 株式会社は、パッケージソフトウェア「eBASE」を用いた企業間の商品情報交換プラットフォームにより、食品、日用雑貨、医薬品等さまざまな業界向けの商品情報サービスを展開しています。これらの商品情報サービスは、各業界のサプライヤー、メーカー企業、バイヤー企業の業務を効率化するだけでなく、膨大な商品情報の集約された高品質なデータベースとして様々な業務・マーケティングシーンで利活用されています。

eBASE 社は、今後同社が保有する商品データだけではなく、ID-POS データや GIS データ、人口・天気などのオープンデータなども掛け合わせたうえでのデータ分析が重要になると考え、これらの膨大なデータを総合的に分析し、エビデンスに裏付けられた経営施策を打つ「デジタル経営」への変革が日本企業の喫緊の課題と考えていました。

eBASE 社は、データビークルの提供する「dataDiver」を直感的なインターフェースにより本質的な課題を見つけ出すのに優れたデータ分析ツールであると考え、2018年5月31日にデータビークルに資本出資を行いました。

「dataDiver」は 43 万部発行のビジネス書のベストセラー「統計学は最強の学問である」の著者であり、データビークル最高製品責任者である西内啓がそのノウハウを詰め込んだ「現場が使える」データサイエンスツールです。従来、分析に使われてきた BI（ビジネスインテリジェンス）と呼ばれるグラフ描画ツールとは違い、データサイエンスに基づいた仮説を短時間で探し、打ち手立案への貢献を実現します。

#### ■eBASE 株式会社について

様々な商品情報を管理・運用できるパッケージソフトウェアを提供することにより、業界毎における商品情報交換の全体最適化を目指しています。



- ・会社名：eBASE 株式会社
- ・代表者：代表取締役社長 常包浩司
- ・設立：2001年10月
- ・所在地：大阪市北区豊崎5丁目4-9 商業第二ビル 2階
- ・事業内容：商品情報交換データベースソフト「eBASE シリーズ」の企画開発・販売・保守
- ・URL：<https://www.ebase.co.jp/>

#### ■株式会社データビークルについて

2014年11月にデータサイエンスツール専門会社として設立されたデータビークルは、「データサイエンスの民主化」をキーワードにプログラム知識なしで使えるデータサイエンスツールを開発、販売しています。

- ・会社名：株式会社データビークル
- ・代表者：代表取締役 CEO 油野 達也
- ・設立：2014年11月
- ・所在地：東京都港区高輪3丁目23-17 品川センタービルディング 407
- ・事業内容：ビックデータの取得、解析、分析に関する事業 等
- ・URL：<http://www.dtvcl.com/>

#### ■本リリースに関するお問合せ先（報道関係者様）

株式会社データビークル マーケティング担当

E-mail: [info@dtvcl.com](mailto:info@dtvcl.com)

TEL:03-6455-7754 FAX:03-6455-7764

（※ 本リリースに記載されている会社名、製品名、サービス名は、当社または各社、各団体の商標もしくは登録商標です。）